

はじめて、転職しました。  
 今度の転職人間関係が良い、年収が上がった。資格も活かせる。  
 今度こそやりたい仕事、なんだかスッキリした。こんな良い環境。  
 わたしってこんなに評価してもらえるんだ。今まで何だったんだろう(笑)。  
 やっぱ会社選びって大切ね。だって、生活が、変わったもん。



成功の秘訣は、一人でムリしなかったこと——。

はじめての転職、人材会社の入門に パソナユース

MSN コミュニティ



コミュニティ



コミュニティ ホーム | お気に入りのコミュニティ | 言語 | ヘルプ

**重要なお知らせ**  
 MSN コミュニティ サービスは、2009 年 2 月をもちまして終了させていただきます。MSN のオンライン コミュニティ パートナーである Multiply にコミュニティを移行できます。詳細については、こちらをご覧ください。

www. 文法レベルでの自然学会. jp

grammar@groups.msn.com

- 新着情報
- 今すぐ参加
- 文法レベルでの自然
- 物理論理学
- 宇田雄一語録
- バンドの電脳言語者
- Web リンク集
- ツール

☆ **物理論理学：言語道具仮説**  
 掲示板の一覧を表示

◀ 前の話題 次 の話題 ▶  返信を受信トレイに送信

返信	おすすめ	メッセージ 1 / 4
<p>投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome (元のメッセージ) <span style="float: right;">投稿日時: 2005/05/28 8:12</span></p> <p>さて、言語習得が、言語のみによる指導に基づくのではなく、身体的実況直面的学習を不可避の要素として含むならば、</p> <p>言語習得は、ボタンを押すとエサが出てくる類の、心理学の動物実験、と質的には何ら変わるところはないでしょう。</p> <p>とすると、我々の言語使用というものの本質は、<b>比喩的に言うならば「エサを出すためにボタンを押す」ことである、</b>と言えます。</p> <p><b>言語は道具である、</b>ということは、言語も、土木作業などに使う機器と本質的には同じである、ということですから、この観点に立てば、特定の文法によって規定される言語には、自ずと限界があり、<b>いかなる言語も無制限に適用可能とは行かない</b>であろう事が、容易に推測されます。</p> <p>このことは、量子論の文法を拡張した僕による時間の量子化の文法ですら、文法の改良に過ぎず、文法の完成ではないだろう、という予想につながって行きます。</p> <p>そして<b>文法が完成する事は永久に無い</b>であろう、という予想にまで及ぶのです。</p>		

◀ 最初の返信 ◀ 前へ 2-4 通を表示 : 総返信数 4 通 次へ ▶ 最新の返信 ▶

返信	おすすめ	メッセージ 2 / 4
<p>投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome <span style="float: right;">投稿日時: 2005/05/28 8:27</span></p> <p><b>【プラグマティズム】</b></p> <p>宇田の「古典物理学」には、真理の判断基準、つまり、真理とは何か、という問題に対する、哲学上の幾つもの解答候補が百科事典から引用され、その解答候補のうちの一つであるプラグマティズムに対して、いくらなんでもこれだけは良く分からない、とコメントしてあります。</p>		

当時の宇田の理解はそこまでだったのです。

プラグマティズムというのは、  
**真理か否かの判定基準は有用性の有無である**、  
 という主張です。

この主張は、**一見無茶に見えますが**、  
 言語道具仮説に基づけば、正当化可能な予感がしますね。

返信	おすすめ	メッセージ 3 / 4
投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome		投稿日時 : 2006/03/10 15:41
<p><b>【ゲーデルの不完全性定理は物理学理論を脅かすか】</b></p> <p>ラッセルのパラドクス等に見られる数学の限界というものは、        単なる言葉の問題であって、        物理学理論の抱える本質的な限界とは全く無関係だ、        と言えるでしょうか？</p> <p>言語は道具である、との認識に立脚すれば、        言語を刃物に喩えることは、全く自然です。</p> <p>最も硬くて他の如何なる刃物をも削って加工する事の出来る刃物、        というものが、もしあったなら、        そのような刃物を加工することは出来ません。</p> <p>したがって、そのような刃物に、        他の刃物を削って加工するのに都合の良い形状を与えることは、        原理的に出来ないこととなります。</p> <p>もともと、これは喩え話であって、        工業においては、        人間の入手できる素材の中で最も硬い素材を加工する技術、        というものが、おそらく、既に編み出されている事でしょう。</p> <p>このことは、最も硬い理論というものの形状を整える方法への、        ヒントには成るかもしれませんが、        即座に最も硬い理論の形成の不可能性に対する上記懸念を        払拭するものだ、とは考えられないと思います。</p> <p>そして、この懸念は、        数学におけるラッセルのパラドクス        およびこれに類する言語の限界、        というものによって裏付けられるかもしれない、        と僕は感じるのですが。</p>		

返信	おすすめ	メッセージ 4 / 4
投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome		投稿日時 : 2008/05/14 19:33
<p>コンピュータ文明の繁栄を見ていると、        2進法は物質利用の特殊な一形態だ、        という感じがして来ました。</p>		

◀ 最初の返信 ◀ 前へ 2-4 通を表示 : 総返信数 4 通 次へ ▶ 最新の返信 ▶

◀◀ [物理論理学に戻る](#) ◀ [前の話題](#) [次の話題](#) ▶  [返信を受信トレイに送信](#)

注意 : Microsoft は、このコミュニティの内容について、一切の責任を負いません。ここをクリックすると、詳細情報が表示されます。

家族のインターネット MSN プレミアムウェブサービス

MSN ホーム | Hotmail | ニュース | ショッピング | マネー | スペース

ご意見ご感想 | ヘルプ

©2006 Microsoft Corporation. All rights reserved. 使用条件 プライバシー 迷惑メール対策